



## 近所会(連携会)勉強会

H24.2.14(火)



NTT東日本東北病院 古田放射線科部長の講演

寒さが一段落した2月14日(火)ホテルメトロポリタン仙台に於いて、多数の先生のご出席を戴き勉強会が開催されました。始めに遠藤文朗総合診療科部長から「民間療法で動けなくなった関節リウマチ例」～リハビリテーションの有用性～につき、入院から退院までのリハビリを含む取組みにより1ヶ月で日常生活が可能とされた方の発表がなされました。次に古田明美放射線科部長が「東日本大震災と放射線障害」として急性放射線障害の解説、原発問題後の宮城県を含む放射線の空間線量などが示され、食生活を含めて市民に癌が増えるレベルの放射線被曝はないものとされる事、むしろ癌を防ぐ生活習慣を維持することが大切である…と説明されました。

最後に、鈴木恒彦整形外科部長による「廃用症候群とリハビリテーション」では廃用症候群とは…寝たきり状態など過度の安静状態をとり続けることによって起こる身体機能の低下を言い、廃用症候群の症状が少しでも見られる場合は、早くリハビリテーションを開始する事がQOL向上に重要であること、と同時に関連する診療報酬での要点について話されました。

続いて開催された情報交換会では和やかな雰囲気の中で先生方から意見、要望、思い出話しながらされました。今後の地域医療連携推進にみんなで取り組むことで締めくくられました。



浅木 健診センター所長

あなたの健康管理は  
十分ですか?

丁寧な個別健康指導と  
充実した検査項目で  
健康維持が図れます。

人間ドックを  
受けて見ませんか?



## 【特 長】

専門の医師による丁寧な個別指導と充実した検査項目でサポートします。基本検査、オプション検査など多彩な種類の検査があります。検査結果により精査や治療が必要な場合にはNTT東北病院で責任を持って対応いたします。あるいは各地の連携する病院をご紹介します。宿泊は健診センター施設、市内ホテル、近郊温泉等でリラックスした時間を持って戴きます。

2010年2月に人間ドックの優良施設(機能評価認定施設)の資格を取得しました。



(第25回市民公開講座より)

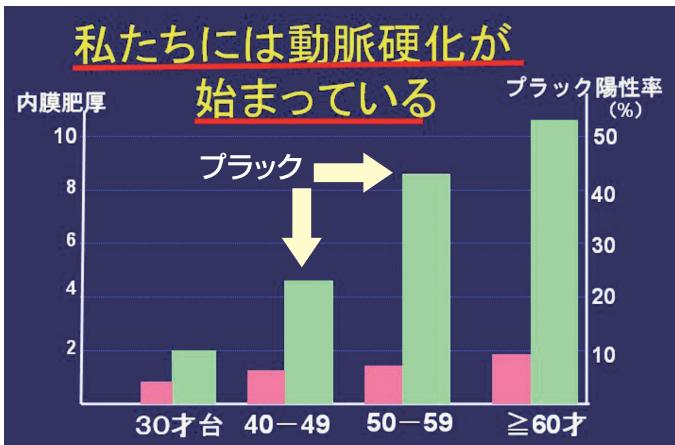
## ○明日の「健康づくり」のために

### ・人間ドックのデータに学ぶ「健康のあり方」 佐藤 明 健診部長

がんの原因是男性は喫煙で29.7%、肝炎ウイルスやピロリ菌などの感染22.8%、飲酒9%。女性は感染17.5%、喫煙5%、飲酒2.5%である。がんの半分は予防できる原因で起きている。

「生活習慣や環境の改善で日本人のがんは確実に減らせる」、一方肥満が原因となるがんは日本人の場合、男性で0.8%、女性で

1.6%と少なくアメリカ人の3分の1程度だった。予防には食事、運動が大事で工夫することにより更に効果がある。



当ドック頸部エコー1500例での成績:早い対策を!



※人間ドックの申込み・お問い合わせは  
TEL.022-236-5881(健診センターへ)

# 第2回糖尿病連携セミナー

H23.11.15(火)



ホテルメトロポリタン仙台において90名を超える先生方が参加されました。

奥口先生座長の下に、まずNTT東北病院志村眼科部長から「糖尿病網膜症とAGE」と研究成果の発表がありました。続いて、やまもと内科クリニック山本匡先生からは「選択的DPP-4阻害薬シタグリブチンの使用経験」を調査データに基づき投与後の変化について話されました。

最後に東北大学大学院医学系研究科准教授石垣泰先生から「糖尿病診療の最近の話題」について講演され、参加された先生から多くの質問が出る充実したセミナーとなりました。

その後の情報交換会では、和気あいあいとした雰囲気のなかでお互い親交を深めることができ更に糖尿病連携の絆が強まりました。

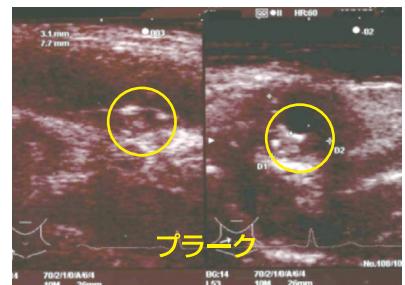
## 第24回市民公開講座

H23.9.21(水)

### ○痛くないエコー検査で血管や関節を診ましょう。

佐々木 院長

頸動脈の壁所見は脳や心臓の血管の状態を反映しており、脳梗塞や心筋梗塞の出現前に予知できます。これは頸動脈のエコー検査でplaquesを見出す、血管(内膜)が厚くなることでわかります。当院では健診ドックでも実施していますが(前頁の図)、ドック全員にこの検査を実施しているのは全国でも稀です。すでに30歳の若い人でもplaquesが認められており、食生活などの改善、場合によっては薬の服用が動脈硬化の進展防止に有効です。



頸動脈エコー

## 第26回市民公開講座

H24.1.18(水)

### ○インフルエンザと呼吸器疾患

高橋 識 至 呼吸器科部長

インフルエンザは、11月～3月に急激に流行、突然高熱が出て2日～3日続く、全身的症状がはじめから強く出ます。喘息などの呼吸器疾患のある人は、空気の通り道である気道と肺に慢性的な炎症があり、インフルエンザに感染し症状が進むと発作や呼吸困難も起こり症状が重くなります。重症化を防ぐには喘息のコントロールなどをしっかり行い発作を起さないことが大切です。



## 新任です。宜しくお願ひいたします。

鈴木 健司 医師(消化器内科)



1月から内科で診療しております。専門は消化器です。よろしくお願ひいたします。



西堀 翔子 医師(研修医)



大学時代は、夏の暑さと冬の寒さが厳しい山形で過ごしました。ゴルフ部とオーケストラ部に所属していました。ピアノを弾くことと、カフェでのんびり考え方をすることが好きです。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 第2回 近所会親善ゴルフコンペ



10月30日(日)多数の先生方が参加され親善ゴルフコンペ(西仙台C)が開催されました。

時折太陽が顔を出し無風で絶好のゴルフ日和に80歳代から30歳代の先生まで笑い声の耐えない一日を心行くまで楽しまれました。今回の優勝は鈴木寿彦先生(福住クリニック)、ベスグロには石田一彦先生(石田医院、グロス83)でした。  
おめでとうございます。



## 柴田三兄妹 震災復興コンサート

新春のコンサートに続き今回は震災復興コンサートに駆けつけられ、患者さん、仮設住宅にお住まいのみなさんに素晴らしい津軽三味線と民謡をプレゼントしてくれました。コンサート終了後には仮設住宅の方々を含めて芋煮(仙台風、山形風)、きりたんぽ(秋田)での交歓会が行われました。



(H23.11.16)

柴田三兄妹の民謡に合わせ手拍子



芋煮、きりたんぽに舌鼓み

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1  
NTT東日本東北病院

地域医療連携室

TEL 022-236-5899  
FAX 022-236-5920